

038 press

[おみやプレス] **02** 秋号 vol. **0** 

今季の特集

地域の絆が結んだ『もてなし』の心。

大震災直後の東六小避難所運営

2011年10月1日お!宮町地域情報編集局 発行

## もくじ

大震災直後の 東六小避難所運営 ……2

宮町の歴史③ ······3 宮町今昔③ ······4

教えて浄圓房さん 復興のともしび

町内会に新しい

仲間ができました

お宮町なるほどツアー② …6

宮町商店街の今 ………7

新名物

延壽院の木札の

お守りとは?

宮町秋まつりを開催!

まちの掲示板

学校行事予定表 ………8

街の掲示板

編集後記

[編集] お!宮町地域情報編集局

仙台市青葉区役所 まちづくり推進課内

お! 宮町地域情報編集局ホームページ [ 2011 年公開予定! ] 宮町商店街ホームページ [ http://omiyamachi.com/ ]

# 大震災直後の東六小避難所運営

クやツイッターで避難がたった頃、フェイス、

所

たった頃、フェイスブ 大震災からしばらく

ッ

時

なった東六小学校が話題と

なりました。人々はこの

避

# 『もてなし』の心。

様の感謝の言葉がつづられも次々と届いたメールと同 多くは後日、東六小学校へ 難所での対応をそれぞれに ていました。 つぶやいたのでした。その

当時の状況と体験談を交えな 連合町内会長海老一朗さん、 がら地域を代表して東六小学 在、 月を迎えようとしている現 主婦の四人の方にお話をお聞 さん、そして炊き出しをした 校渡部力校長先生、 あったのか、 日赤奉仕団副団長菊池ゆう子 3月11日大震災以降に何が 鮮明に記憶に残る光景を 震災から早7ヶ 東六地区

1800人を超える人と人

駅はいち早く閉鎖され、否渡部校長。大震災直後仙台わせた人』そう語るのは 張でたまたま仙台駅に居合した多くの人達は旅行、出『東六小の避難所に避難 応無しにそこから溢れ出し 行者達は仙台駅に一番近い た多くのビジネスマンや旅

> う語 で数日間昼夜をともにする ニティセンターや地区内 難所指定されて居ないコミ 事になりました。 きる寒さの中でこの た避難者達は、 導したと言う。 高等学校へと地域住民を誘 1800人もの県外から来 目にした地域の代表者は避 ていました』海老会長はそ 定され開放される事になっ 小学校へとさみだれ り、 溢れ来る避 民の避難所と指 雪が降りし そうして 小小学校 避難民を 小学 に 0

1800 人もの県外からの避難者

営が上手く行ったのでしょう。

何故、この地区の避難所

地域のささえ

日頃のそなえ

災時の役割分担を取り決め 『この地域は6ヶ月前から災 ていた事が機能した』と話 実行委員会を組織し、 海老会長はこう振り返る。 発

明治の学政発布直後に出

日頃の交流の賜物』と語った。

校と地域の住民との連携は常 そう質問すると渡部校長は『学

たこの小学校には戦前はるか

かった時期に、今で言う学校

のPTAと言う概念すらな

のではないか」と云う。 訓練や組織の充実につとめ 町内会は真摯に受け止めて、 としないが、東六地区連合 で機能したかどうかは判然 をした他地区が今回の震災 られていた。「それらの経験 担当地区は持ち回りで決め する実施訓練をしていたが、 の宮城県沖地震発災の日に、 て居たので良く対応できた 小学校区で防災意識を喚起 毎年仙台市では6月12 廊下に避難する人々



助や学校整備費など、小学校 お金と人手と知恵を出しあっ あり、機能していた歴史があ 全体のサポートをしていたと 実、スクールバンドの楽器補 立てた夏祭りの開催や図書充 て、物故者慰霊の万燈会を仕 会と関連の各団体がこぞって 窓会にPTAさらに連合町内 支援地域本部的な組織が既に 言う長年に渡る経緯があった。 地域の住民や商店街、 百

的に進めており、東六小の 進めている」と海老会長は によるまちの活性化を推し 住民の交流と郷土愛の醸成 報誌038プレスの発刊等、 会夏まつりの開催、地域情 桜と音楽を愛でる会や万燈 この地区の街づくりを積極 ニティ委員会を立ち上げて 員とする地域活性化コミュ 商店街振興組合理事長を委 PTA会長等の幹部、宮町 識者を始め、 えて地区各団体長、 会では近 また、「東六地区連合町 住民との絆を強調した。 普段からの地域や学 連町役員に加六地区連合町内 東六小校長、 地域有

ば全員が地域外からの来訪 特ち込んだ投光器は皆の心 持ち込んだ投光器は皆の心 が、急遽コミセンから 者で、 て、 朝から深夜に至るまで、徹 う命題も抱えていたが、早 け うのは運営側とて同じ状況 ん達がつくる小さなみかんは菊池ゆう子さん。菊池さ とした組織が昼夜を問 夜も含め先ず避難所のトイ 下でした』と菊池さんは続 で対応しました』と語るの め地域の各団体も無我夢中 統率がとれた組織戦を敷い て校長先生を頂 た。学校運営の再開と言 員と連合町 掃除や暖房機の給油をは 『発災を期に実行部隊とし 私達町内会役員をはじ 着の身着のままと言 点とした教



続々と避難する人々

らも、皆で一致団結し明るするという難題も抱えなが 朝昼 食事の調達と調理、 処したと渡部校長。 く『おもてなしの心』で対 者を掌握し数を決めて配給 わりして増減の激しい避難 じめとした居住環境の維持、 晩と入れ替わり立ち替 そして

## 広がる輪

からも「何かしたいと思って る舞われ喜ばれたが、作り手 側の教職員・スタッフにも振 味噌汁が出来上がった。避難 ルは次々と広がり、発信の翌 材、食器、 う声を聞き、市・災対本部双 対処して行くようなマニュア している人だけではなく運営 日昼には大鍋4つ分の具沢山 な支援でもOK」というメー 方の了解を得た後、 物を飲ませてあげたい」と言 住む50代の主婦は、「温かい汁 と渡部校長は続けた。地域に ルにはない事を続けました 法を一人ひとり模索しながら 難者の情報を把握して解決方 えば個人調査票を作成し、避 さえいつしか消えていた。 か」と友人2名に相談した。「食 で炊き出しができないだろう 当初いたわがままを言う者 調理の手伝いどん 「持ち寄り

> にも心にも染み渡り、 と言われた。その暖かさが身 強く印象に残った。 いたので自分もうれしかった お互い

と言う事を繰り返しながら避 所は3月25日に閉鎖された。 避難者は10人減り50人減り



ーティングの様子

統率をとるためのミ

## つぶやき

うして避難者達の感謝の声は 報じるという事へとつながっ つしか文部科学省へと伝わ は実に多かった。その声はい というインターネットを介し フェイスブックやツイッター かったかと言う事を避難して 避難所運営がいかに素晴らし れに発する様になる。その数 た「つぶやき」の形でそれぞ いた人々は気付きました。そ 子が報じられると、 その頃から他の避難所の それを知ったメディアが 東六小の

> えたいと言う行為は今でも でも無く、感謝の気持ちを伝 くださいと言う寄付は言うま た。『御礼の手紙や役立てて

## 結び合う心と心

いています』と渡部校長。

の心』だった。 いた絆が結んだ お声掛け、 何より、普段からの心掛けと するそれぞれの想い、 とりの清々しい顔と顔。そこ たが、』そう語るお一人おひ 場。実は『私達も被災者でし なかったそれぞれの立場と立 は無い対応で対処せざるをえ の大震災という想定を超えた 応出来たと言う事に結びつい 言う『おもてなしの心』で対 頃の地域と学校の絆の証し、 に見えてきたのはこの街に対 た』と言葉を結んだ。未曾有 と海老会長は語り、 『その結果として渡部校長が こうした避難所運営は常日 規程やマニュアルに そこから生まれて 『おもてなし 続けて そして

避難所写真提供/大場勝彦氏 文/千葉富士男 写真/針生英

## 戦後の昭和37年「住居表示 の面影を伝える町で (25町名・地名が整理統合、 45年2月宮町1~2丁目 ら、当時の島野武市長に宮町

行き過ぎに、まだ気がつかな 町名変更にまで手をつけた 地番整理が法律の主目的で、 あったためか、多くの人々は かったようです。 区が、仙台最初の大規模モデ が、昭和40年4月1日に旭ケ ル住宅団地の土地開発の地で 丘地区で実施された。この地 台初の住居表示の切り替え に関する法律」の施行で、 仙

照宮1~2丁目(3地名)の

た。もちろん整理統合された 新しい街区町名が誕生しまし 翌年5月小田原一~八丁目 以下同じ)と梅田町(6地名)、

(26地名)、さらに47年5月東

番が西欧諸国と比べ、 われます。日本の町名・地 三二五の町名があったとい よそ一二五の、 そうでしょうか。 分りにくいといわれますが、 藩政中期仙台城下にはお 幕末には 大変

するその町名地名は、 域文化、生活文化の枠を象徴 長い生活の中で育てられた地 きたものです。祖先と先人の 治4年の地番制定によってこ 旧地名(町名)の多くは、 てしまいました。 れまで呼び慣れ、使い慣れて 失われ

町名を残そうの運動の中 います。 市内中心部に辻標が建って 旧町名を潰すな、 か

ほしいものです。 介、先人の文化の粋を知って いえます。地域内の辻標を紹 しく、歴史事実の再改竄とも ら「宮町」なので大変紛らわ たの近くでも目につきます。 カラ」「まちづくりに活用」 活用推進事業、 現在の「宮町通り」は昔か

ンフレット第35集」改訂版より転載 ※辻標写真・文は 「仙台市文化財パ 文/伊勢民夫 3

刀田原北:

使應

(2)

丁迪

小田屋里

化五番丁

北四番王

北三番

北三番丁

想

1

73.BF

す。 に取り組んできました。あな 事業を立ち上げ「地域のおタ 道路の通称名として活用する 成後、仙台市は歴史的町名等 た。18年がかりの記念事業完 材扱いで88柱が建立されまし や通名を刻した県産の稲井 画を陳情し、実現したもので 年記念事業として辻標建立計 青連)が、市制施行八十八周 仙台商店会青年部連合会(仙 商店会青年部の人々も加わる ( 25×25×15cm) 菊平石 旧城下内に一七四の町名 昭和5年から平成6年ま 歴史的町名を 策

## 東六平丁

## 小田原袖振丁

敷が割られ、宮町東裏丁と遣水丁を 四年(1692)までの間にこの屋 現れ、袖を振ったからともいう。長 ているためこの名がある。また一説 結ぶ横丁ができた。 が、寛文五年(1665)から元禄 によれば昔振袖姿の娘に化けた狸が ずる曲がり角の形が振袖の袖下に似 丁通中央に亘理伯耆の屋敷があった 小田原長丁通から小田原車通に通

## 花京院通

車が通ずると段丘は切り割られ陸橋 度は登り坂となった。 ができたが、路は穴底の踏切となっ 験は光禅寺通の西北角にあった。汽 車道に至る通りで、花京院という修 た。市電開通により拡幅されたが今 外記丁、同心町角から段丘の上を

丁」と呼んだという。

の鑓(やり)も見えないので「鑓見ず 生い茂っていて東照宮に往来する行列 ある。一説によれば道幅が狭く樹木が 敷に水を導き入れていたのでこの名が 側の屋敷内に長い池があり、東側の屋 車通を結ぶ横丁ができた。東六番丁西

ので一直線の路は切られた。 狐の話で有名であった。駅ができた で東照宮御旅宮(おかりみや)となり、 学校の地はもと覚性院があり、つい はさんで侍丁とされた。東六番丁小 の北をいったが、東照宮の落成の頃 宮町の南に続けられ、中に職人町を 古くは清水小路の北詰、六道の辻

## 1

## 宝蔵院の

小田原達水丁

田川の間に見えるが、その後廃絶した。 安政の城下絵図では現在の延寿院と梅 仙岳院の塔頭の一つで、 に東照宮の別当寺として建立された (1655) の寺領は25石であった。 宝蔵院は、承応3年(1654) 明暦元年

## 地名はこの寺に因む。

与えられ、 地に東照宮が造営された際に町割り 権現町ともいわれた。 の特権が与えられていた。 れたほか、仙台祭の日には絹布着用 がなされた。全戸に五百文の田畑が 3年(1654)玉手崎の天神社跡 東六番丁北端までの南北の町。承応 東照宮の門前町で、北六番丁から 年貢や町方諸役が免除さ 御宮町



小田原遣水丁

(1691) の間に東六番丁と小田原 寛文五年(1665)から元禄四年



## 【浄圓房さんとは】

現」は、 りしたものである。 お堂におられる「浄圓房大権 延寿院境内の浄圓堂という 一人の行者をおまつ

がらないうちに出羽 麦飯を釜にかけてそれが炊き上 りしたという。 の羽黒山へ往復した いた僧侶で、羽黒の行者とな 浄圓房さんは東照宮の別当に 韋駄天のごとき走力を得

よって仙台藩領内に膨大な被 代にも地震はおきたの? 震と言って、 に起ったんじゃ。慶長三陸 それは江戸時代のはじ はいはい承知した。 ね | ね | 伊達政宗公の時 地震と津波に 浄圓房 さ

> 三陸大津波として、 害をもたらした。 それは慶長 てローマへと派遣したんじゃ。 をメキシコ、スペイン、そし フアン・バウティスタ号を建造 遣したんじゃ。伊達政宗公は た二年後、慶長遣欧使節を派 んじゃ。だがの、それからたっ 初めてのものと言われている 中で記録されておる。「津波 臣支倉常長一行は一八〇余人 し、慶長18年(1613)家 目的として、ガレオン船・サン・ 仙台藩とメキシコとの貿易を (浪)」の語が文献に現わされた 日津浪云々」と『駿府記』の 悉流失す。 宗領所海涯人屋、波濤大漲来、 28日 (1611年12月2日)「政 家の資料には慶長16年10 溺死者5千人。世 当時の

||今から四○○年も前 周をしたの? にお侍さんが世界 ヘー、すごーい!

と言う偉業は彼らの総力無しに 努力をしておった。慶長三陸大 現在の仙台を生まんが為に奮闘 は実現出来る事ではなかったの から慶長遣欧使節を出帆させる 津波からわずか2年余で月の浦 力を合わせ復興の為に尽力し、 畤 そうなんじゃ! 当 家臣と領民は共に

> を頂 れじ や。 は 点と 主 君 そ

民総出で行なわれた 家臣



その地震と津波が起 事に違いないんじゃ。



事を見たよ! ンから励ましの日章旗 「心はひとつ!」スペイ 届く 気仙沼」という記 そう言えば新聞 で

回の地震と津波で被災した気仙沼 歴史は繋がっている、とあらため じゃな!地震と津波と遣欧使節-にスペインのサグラダ・ファミリ て実感させる出来事じゃな。 アから応援メッセージが届いたん 年前の遣欧使節の縁で今 そうなんじゃ。四〇〇

ね! うん、私達も力を 合わせて頑張ろう! 人も皆で頑張ったんだ そうじゃな、共に力を 四〇〇年前の仙台の

挿絵/がんじー 文/千葉富士男 合わせて前へ進もう!

町内会に新しい仲間ができました

『青葉のまち町内会(108世帯)』が誕生致しました。

(旧キリンビール工場跡)

8月に東六地区連合町内会の単一町内会として

きたのは今から丁度四○○年 8月20日東六番丁小学校校庭



鎮魂のあかり

## 【第60回東六万燈会夏まつり開催】 復興のともしび

域住民の方々などで、大いに賑 なりました。人出も例年より多 あふれるこの地域らしいお祭に をはじめ、五城中吹奏楽部や東 にて、今年で60回目を迎えた東 く、浴衣姿の子どもたちや地 六小スクールバンドなど、音楽 た今回の万燈会。和太鼓の演奏 められ、内容も盛りくさんだっ 本大震災からの復興の意味も込 した。3月11日に発生した東日 **六万燈会夏まつりが開催されま** 

雰囲気ですね。未曾有の大震災

「今年の万燈会はいつもと違う

わっていました。

前の事なんじゃ。

ともる一夜となりました。 富士男さん。地域に希望の灯が ります。」こう語ってくれたのは、 祈りが込められているのが分か 例年より高く掲げられた万燈に の願いも、やはり犠牲者の鎮魂。 を目の当たりにした子どもたち 万燈会夏まつり実行委員の千葉

文/針生 奏子



出店も大盛況でした

てきたのです

え、

宮

町

史

を

宮

٦ の地 越

域

住 てきま 0 震 和 飢

民

手.

作が

022 - 234 - 3247

災や

宮

]城県沖

屋などの 住民

の危機を宮町 て乗り

7

維

新

近

でくは

地昭

の後、

明

0)

10 饉

年や

0 明

力 続

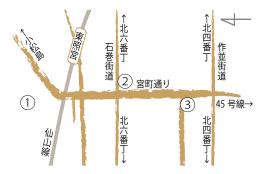
Û 東照

ええ

## 「お宮町なるほどツアー」 身近な商店街を**巡る**

去る8月20日、一般の読者6名が参加して、身近な商店街を巡る旅「第 2回お宮町なるほどツアー」が開催されました。

この企画は、長年この地域に住んでいてもなかなか触れる機会がない地域 や商店街の歴史、店主のこだわりや思いに触れることで、さらにこの地域を 好きになってもらおうということでスタートしたもので、038プレス編集 部と宮町商店街振興組合が連携して行っているイベントです。



にちなみ、

车、

2代

地で疲れを癒されたこと

まずは東照宮からスタートして、宮町商店街のお店2軒、そして最後に東六小学校の万燈会に参加する、というルート で行いました(万燈会の記事は5ページに記載)。今回の企画も、地域の歴史にも触れる充実した内容のツアーとなりました。

宮町を見守り続ける神社

## 2

履物店

宮町 の「夜桜お七

③ ワインと地酒の

店

橋 履 お昭

さんの話をお

聞

まし

川家康公が 声きし 派照宮

I の 境

で

崎

なの うよ らもお客が来ます 立てる腕 お父様に仕 を 合う下駄を求めて遠 聞 b, だそうです。 きまし 仙台では 込まれた鼻 下 自彼 から 在。 駄 反女だけ 分の 職 ح 人の 方 足 V

り る ゆ 時、 ・駄屋の勘です。 るくし しません。パッと見て判 注文に応じて鼻緒 鼻緒をきつく 足のサイズを尋ね たり調 節。 を立 たり

も作られ、

東照宮の門前町と 生まれました。

一町までまっすぐ延びる道路

して宮町

038プレス創刊号に詳しく されました(遷座については 藩主伊達忠宗公によって建立

載し

7

1

、ます)。その

時

とか。 のメロ 郭のお女郎さんも買いに来た えたひと時でした。 戦前は、 坂本冬美の「夜桜お七 ディーが浮かんでは消 新常盤町界隈の游

境内での取材の様子

店内での取材の様子

と言って商品をお買い求め 下3倍」 たお客様に限り 店頭で「038プレスを見た」 仙台市青葉区宮町4丁目7 022 - 223 「わくわくポ 8 17 8 こになら

と言って商品をお買い求めになら店頭で「038プレスを見た」

れたお客様に限り

「わくわくポイ

| 卜3倍

ら(米粒を食べると瓶を一本購入し、) らの評判が高く、震災後は品城の酒はおいしいと、県外か瀬談義が展開されました。宮 題は尽きず、 薄だとか。 心のどぶろく。その場で四合ここで目に留まったのが山 022 - 222 - 8040 (米粒を食べるような感じ) 世 |相や経済問題まで話 お酒にも流行があ つくづく酒は文 試飲しなが

どぶろくの試飲の様子

うです。 んが性 ンに力を入れています もその一 あ 的 酒 かります。 な品揃えの 0) ル造と 今の <sup></sup>照宮 り つ。 酒 佐 0 宮 屋 地酒 お酒 町 专 門 々 木 あ に 前 屋さん個 いったそ と 酒 に ワ 店 は

【ツアー内容】
① (はじめ) さんので手打ちそばの見学。(ツアーの最後に山形十割蕎麦をいただきます)
② 「ミティーク」さんのケーキセットをいただきます。
③ 「ふとんの菅野」さんでの寝具の見学。

いずれのお店でも、ご主人のこだわりを聞かせていただきながら、その店を知るツアーを企画していますので、是非ご参加ください。

## 次回ツアーのご案内 「お宮町グルメツアー」

第3回お宮町なるほどツアーを実施いたします。今回は、「お 宮町デビュー」という企画で、最近この地域に住み始めた方々 を主な対象に、お宮町界隈の「グルメツアー」を行います。

編集部イチ押しの蕎麦屋、スイーツ店などを巡りながら、 宮町の魅力を満喫していただきます。

時 10月30日(日)午後3時

所 東六小学校前集合

参加費 お一人様 1,500円

定員 6名

お申し込み

仙台市青葉区まちづくり推進課(022-225-7211) までお申し込みください。なお、定員に なり次第締め切らせていただきます。

心温まるお話です。

またスポーツ関連、

例えば

でした。販売している私達も 方に差し上げたいとのこと しゃいます。ご家族や大切な

良い成績を上げて欲しいと

この商品は、私達宮町商店

お守りを身につけて頂いて マラソン選手などにもこの

## 宮町商店街の今

## 新名物

# 延壽院の木札のお守りとは?

始まっています。 街の組合員の店舗にて販売が、 至りました。現在、 年末から会議を進め健脚健康 わらじの木札守の商品完成に 宮町商店街振興組合にて昨 宮町商店

いと思ったからでした。 素晴しさも後世にも伝えた の師匠に対する思いやりの 知ってもらいたい。浄円さん われをもっと多くの人々に 院さんに伝わるわらじのい りを作るきっかけは、延壽 実際この木札のお守りを わらじの木札のお守

> a t いております。木札のお守り 壽院さんでご祈祷をして頂このストラップ木札は、延 も心掛けて活動しています。 をお願いして地域への還元 きょうどう舎しじゅうから ては、NPO法人生活支援 work さんに仕事 420円(税込)です。 宮町商店街振興組合 理事長

包装など簡易な作業につ街のメンバーが、焼き印を のメンバーが、 焼き印をし

> 10月15日 (土) 10時~15時30分 宮町秋まつりを開催

朝10時から午後3時30 分まで東照宮の境内に て行います。 催) は、10月15日 (土) (宮町商店街振興組合主 今回の秋まつりは、 第15回宮町秋まつり

時まで開催されます。

が、午前10時から午後3

回、初の試みとしてこの

お祭りを見学しながら、

日帰り旅行も西川町主催

にしかわの秋を満喫頂く

お祭りになります。そ山の幸!が、味わえる ります。まさに海の幸! 西川町とのコラボになますので久々の山形県 合も産直でご参加頂 ゆりあげ港朝市 共同 き 組

多くの方々にご参加頂き で企画しています。 たいと思っています。 宮町商店街振興組合

利府太鼓やジャズ、シャ で奏でる音楽祭では、 ケットも行います。杜 ンソンなど多彩な音楽

複数購入される方がいらっ

お買い求め頂いている中で

総の命力が、浅えまず様的前 は水平布・川道元社 されていまか 行いますから是非足 店舗で事前に渡される 形県のにしかわ秋まつり 運んでみてください。 たるジャンケン大会も ば商品券がその場で当 応募用紙をゲットすれ 宮町商店街振興組合の で楽しんで頂きます。 10月23日 (日) には、山











トコーン)フリーマー

味覚市(芋煮やスイー

0)

他、

例年好評の秋の

まちの掲示板

車六小学校を会場としたサークル活動のご紹介

団体を(紙口)	45 tm 202 t/b	<b>过</b> 县口	4×881 × A 4- 1L	
団体名(種目)	参加資格	活動日	お問い合わせ	
バドミントン同好会	学区内に居住 勤務の成人	毎週土曜日午後4時~午後6時	022-222-0480 (今野)	
東六クラブ ( サッカー )	小・中学生 高校生		NPO 法人 PlaceOfPlay 仙台 022-343-9080 e-mail pop_step_jump106@yahoo.co.jp	
BLUES (バスケットボール)	小学生	毎週火曜日・金曜日 午後6時~午後8時	※同上	
東六学区卓球同好会	学区内に居住 中高校生可	毎週木曜日・第1第3土曜日午後7時~9時 毎週日曜日祝日 午前9時~11時	022-222-6437(佐藤富美子) 022-224-2696(平野敏男)	
二庚クラブジュニア (野球)	小学生	毎週土曜日・日曜日・祝日 午前8時~午後4時	090-8423-7665( 菅谷尚司)	
バレーボール同好会	学区内の男女 (学区外も可)	毎月日曜日午前 11 時~午後 1 時	022-215-8419(平野)	

## ◇東六番丁小学校

10月02日(日)	4:30 ~	東六小学区民運動会 東六番丁小学校 校庭
10月19日 (水)	8:45 ~ 14:15	東六の日(一日自由参観日) 東六番丁小学校教室
11月11日 (金)	7:50 ~ 08:20	故郷復興プロジェクト第3 弾 (朝のあいさつ・清掃活動 等) 東六番丁小学校校門
11月12日 (土)	9:30 ~ 11:30	音楽発表会保護者公開日 東六番丁小学校体育館
12月12日 (月)	7:50 ~ 08:20	故郷復興プロジェクト第4 弾 (朝のあいさつ・清掃活動等) 東六番丁小学校 校門
12月14日(水)~15日(木)	13:30 ~ 16:00	授業参観・学級懇談会 東六番丁小学校教室

## ◇五城中学校

10月26日 (水)	9:00 ~ 14:00	運動会 五城中学校校庭 雨天中止の 場合28日(金)に開催
11月07日(月)~09日(水)		2 学年職場体験学習
12月15日 (木)	13:40 ~ 15:00	職場体験学習発表会 五城中学校体育館

## ◇北六番丁小学校

11月12日(土)	9:15 ~ 11:30	学習発表会 体育館
11月26日(土) (予定)	8:50 ~ 12:15	五城フェスタ 北六小

## ◇常盤木学園高校

10月30日(日)	9:00 ~	第2回オープンスクール (対象:中学生・保護者のみなさま)
11月05日(土)	10:00 ~ 12:00	ミニオープンスクール (対象:中学生・保護者のみなさま)
11月12日(土) 11月19日(土) 11月26日(土)	11:00 ~ 12:00	見学・相談窓口 (対象:中学生・保護者のみなさま)

## [**東六地区五団体紹介**] <sub>東六日赤奉仕団</sub>

主な活動は[救急救命講習会]の開催、「献血の呼びか け」奉仕など。

社会福祉協議会との共催で、80歳以上の高齢者への「ふ れあい配食」、寝たきり高齢者への見舞品「バスタオル」 をお届けしています。

毎年皆様からご協力いただいております社資の還付金 は、東六日赤奉仕団の活動の大切な資金となっております。

## SPECIAL THANKS ご協賛へ感謝を込めて

## アエル株式会社 様

仙台市青葉区中央1丁目3-1 TEL: 022 - 723 - 8000

## 積水ハウス(株)仙台支店 様

宮城県仙台市青葉区一番町4丁目6-1 仙台第一生命タワービルディング 5F TEL: 022 - 722 - 3640



この情報誌は、地域の情報発信と共有を通じ、地域活性化につなげることを目的としたフリーペーパーです。この趣旨に賛同

いただき、より多くの企業や団体、個人の皆様がご協賛を通じて事業を支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

ます。 大学チ 行され 携わることで一 なりました 彩な顔ぶれが揃うようになりました。 でまとまりチー ても大きな期待をもっておりま で活動な 感じました。 年 第2号が発行されまし の情報誌は継続する」と力強 れ川の タ の人々に喜びを与えられる情報誌に ここまで来るのに約2年 就職し 行が、 です 生 0 家 東 1 れ 口 38プレ 康に 照宮 ン マ 学業が忙し O0) 7 の花坂君が担当してのデザインは、東北 停止 花坂 0  $\mathcal{L}$ という方も徐々に増え、 お蔭様で、 38プ に 7 は 7 困 見 ま 会議の中で 行えるは、 かす。 の心配の種でした。 おり 毎 宮 これからもこの 人ひとり ムワークの素晴ら で に す らも活きてく 回 わ る 社会と ます レスのほ いな れ順 Ł 四 積 ました。 なるのでは?と 地 「編集に関わっ 極 域 東北工 宮町 運 的 か、 が、 情 「何とし 関活 てく そう思うと が 年 に 報編 (針生英 成長し わ動 ょ 東 トかかっ 私 が 参 進 前 準備を含 2 藤広行 別加して 好 れる経 を支 れて 業大学 は、 んで け 0) 15 1 集 きに れ 9 東 経 局 ば え と 言 月 い日発

## 編集局からのお願い

お宮町の昔の写真や逸話など、この町の情報を募集いたし ております。 情報をお持ちの方、取材の要望などがござい ましたら、右の宛先までご連絡ください。

## お!宮町地域情報編集局

Tel: 022-225-7211 (₦ Email: ohmiyamachi@gmail.com 〒 980 - 8701

仙台市青葉区上杉 1-5-1 青葉区まちづくり推進課内

## 編集メンバー

主筆/海老一朗 編集委員/加藤久枝、 針生奏子、藤本保之、 歷史顧問/伊勢民夫

編集長/千葉富士男 鹿野恵美子、加納実、菊池ゆう子、木村くみ、佐藤 広行、佐藤正則、佐藤靖、永田良治、南部正人、針生一平、針生英一、 星瑞枝、松本匠充、三岡昭博、(50 音順) アドバイザー/内海睦夫 イラスト/がんじー デザイン/花坂政裕

ライフデザイン学部